

2003 年度 委員会活動成果報告

(2 0 0 4 年 3 月 3 1 日 作 成)

委員会名	都市計画教育小委員会	主 査 名：北原 理雄
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：佐藤 滋
設 置 期 間	2 0 0 1 年 4 月 ~ 2 0 0 5 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	都市計画が大きな変革にある現在、これからの新しい都市計画学への社会的ニーズを背景として、「専門家育成のための計画技術教育」「まちづくり立案に係わるコーディネータ教育」「市民を啓発する都市文化教育」を柱として、都市設計・計画教育の再構築する方向性を検討する。 2001 年度：問題の全体像把握 / 2002 年度：都市計画教育プログラムの基礎調査 2003 年度：モデルと都市計画教育プログラムと教材開発 2004 年度：評価と新しい方向性の確認	
委員構成 (委員名(所属))	主査：北原理雄(千葉大) 幹事：卯月盛夫(早稲田大) 野澤 康(工学院大) 委員：有賀 隆(名古屋大) 鷗 心治(山口大) 加藤仁美(東海大) 神吉紀世子(和歌山大) 北沢 猛(東大) 北原啓司(弘前大) 小林英嗣(北大) 小林正美(明大) 齊木崇人(神戸芸工大) 出口 敦(九大) 根上彰生(日大) 野中勝利(筑波大)	
設置 WG (WG 名：目的)	都市設計・計画教育方法WG：本WGは、新たな都市設計・計画教育プログラム構築のために、それに合わせた具体的な教育方法、教材の開発を行うことを活動目的とする。	
2003 年度予算	2 2 0 , 0 0 0 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会の開催：3月16日 (参加：10名) WGの開催：10月28日(参加：4名) 11月23日(参加：4名) その他は、随時、メールを用いて情報交換・打ち合わせを実施
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 当小委員会設置の2001年時点から、JABEEプログラムをはじめとして、都市計画教育をめぐる状況が大きく変化してきており、冒頭に記した小委員会設置時の各年度目標と整合しない点も出てきており、それについては各年度の活動の中で軌道修正を行い、2003年度は以下の成果を得た。 大学の教育プログラムデータベースの拡張に関する検討作業 2002年度大会で試行したデータベースをもとに、項目や実施依頼校の検討を進めた。 まちづくり実践教育に関する情報収集で公開研究会での議論 専門家を育成するために不可欠な実践教育と市民教育の両方の場として、近年、全国に浸透しつつある「まちなか研究室」の事例収集をし、公開研究会での報告・議論を行った。 委員会HPアドレス： 未開設
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 上述のように当小委員会をめぐる状況変化によって目標設定を見直してきているため、その達成度は測りづらい。大学を中心とした学生への計画教育に関しては、今年度は大学の教育プログラムデータベース作成の検討作業までで終わってしまい、調査実施・データベース構築まで行き着かなかった点は次年度に残された課題である。一方で、まちづくり実践教育については、上記の成果にあげたように、公開研究会の実施によって良い成果をあげたと評価できる。
その他評価すべき事項	3月16日に実施した公開研究会では、これまでまとめて事例報告されることがあまりなかった「まちなか研究室」をテーマにし、その情報を共有するとともに、成功するための条件などを、委員会外の出席者とともに議論することができたことは非常に有意義であり、高い活動の成果を得たと評価できる。 また、それとともにこうした事例情報の収集と公開も、当小委員会の役割であると認識して、次の活動へ結びつけることできた点も収穫であった。